

# 各種奨学金等情報(令和7年5月22日現在)

# 学生支援課

**★希望する奨学金等がある場合、必ず、奨学金等の実施主体の募集要項等で奨学金等の種別、金額、申込期間、応募資格等を確認してください。**

- この一覧は、例年熊本県立大学に募集要項等が届いている奨学金です。
- 「名称」に★印があるものは、本人の直接申請ではなく、学生支援課に申請が必要なものです。
- 奨学金実施団体または学生支援課への提出期限が近いものから順に掲載しています。
- この情報は、奨学金の情報が新たに入った場合は、更新します。

掲載日	名称	種別	金額(月額)	学内または奨学金実施団体の締切等	応募資格の概要	併給
2025/3/28	一般財団法人ONOKEN財団 奨学金	給付	月額5万円 (年額60万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください。</li> <li>【給付対象期間】 4月から翌年3月までの1年間</li> <li>【応募期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 ガクシー(<a href="https://gaxi.jp/">https://gaxi.jp/</a>)財団webページより詳細を確認してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【出願資格: 下記すべてに該当する者】</li> <li>・ 学業やスポーツに前向きにチャレンジしている</li> <li>・ 現在、九州地方*にある大学に在学中の学生(短期大学及び大学院を除く)</li> <li>・ 本財団が企画する行事(交流会等)への参加に協力することができる</li> <li>・ 本財団が定める提出書類を期日までに提出することができる</li> </ul> <p>*九州地方とは 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県を指します</p>	併用可
2025/3/28	公益財団法人志・建設技術人材育成財団奨学金	給付	年額50万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください</li> <li>【給付期間】 在学年毎として、大学修学年限4年を上限</li> <li>【募集期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 ・ 下記のURLより財団ホームページへアクセスし、エントリーを行ってください。エントリーの後、財団よりメールにて応募書類が送付されます。 <a href="https://www.kokorozashi-foundation.or.jp/">https://www.kokorozashi-foundation.or.jp/</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】 下記のいずれにも該当する大学・高専専攻科(以下、大学等)に在籍する学生とします</li> <li>① 兵庫県出身者(兵庫県内高校・高等専門学校卒業生)</li> <li>② 建設系(建築・土木)の学部で学ぶ大学1年生・高等専門学校専攻科1年生(原則)</li> <li>③ 卒業、兵庫県内の建設系企業・官公庁等に就職を希望</li> </ul>	併給可
2025/3/28	在日本朝鮮人教育会 朝鮮人奨学生 奨学金	給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>【大学1年生】 年額16万円</li> <li>【大学2年生以上】 年額20万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください。</li> <li>【給付期間】 2025年4月～2026年3月(1年間)</li> <li>【募集期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 郵送申請・ネット申請の2つの方法で可能。詳細は在日本朝鮮人教育会ホームページで確認 <a href="http://kyoikukai.net/syogakukin.html">http://kyoikukai.net/syogakukin.html</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】</li> <li>1. 日本全国各大学(短期大学も含む)の学部、または専門学校に在籍する在日朝鮮人学生で、在日本朝鮮人教育会が定める「奨学制度の目的(教育会ホームページ参照)」に賛同する30歳未満の者(国籍不問)</li> <li>2. 成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者</li> <li>3. 本教育会の指定行事に積極的に参加する意思のある者</li> </ul> <p>※大学院生、本国からの留学生の募集は行わない ※日本学生支援機構を除く他の給付性の奨学金との併給は不可。ただし応募は可能</p>	一部制限あり ※左記参照
2025/3/28	公益財団法人オークネット財団奨学金	給付	年額48万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください</li> <li>【給付期間】 2年間(学部3年次・4年次)</li> <li>【募集期間】 令和7年(2025年)4月1日～5月31日</li> <li>【申込方法】 各自で財団ホームページへアクセスし、募集要項や申請方法について確認してください。 <a href="https://aucnet-foundation.org/scholarship/">https://aucnet-foundation.org/scholarship/</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】</li> <li>1. 日本国籍を有すること</li> <li>2. 国内大学の経済系学部・情報系学部等に在籍する学部3年生であること</li> <li>3. 応募締切日時時点で年齢25歳以下であること</li> <li>4. 経済的な理由により、学費の支弁が困難であること</li> <li>5. 就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ul>	併給可
2025/4/15	公益財団法人木原財団 木原育英奨学金	給付	年額48万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください。</li> <li>【給付期間】 2年間(学部3年次・4年次)</li> <li>【募集期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 財団ホームページより、募集要項や申請書を入手してください <a href="https://kihara-foundation.org/scholarship/">https://kihara-foundation.org/scholarship/</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】以下の①～⑤すべてに該当すること</li> <li>① 日本国籍を有すること</li> <li>② 国内大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること</li> <li>③ 応募締切日時時点で年齢25歳以下であること</li> <li>④ 経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>⑤ 就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ul> <p>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【応募の目安】</li> <li>学業成績: GPAが3.0以上であること</li> <li>家計状況: 収入・所得が、募集要項に記載の金額以下であること</li> </ul>	可
2025/4/15	一般財団法人古宮誠一記念教育財団 令和7年度古宮誠一記念奨学金	給付	年額48万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください。</li> <li>【給付期間】 2年間(学部3年次・4年次)</li> <li>【募集期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 財団ホームページより、募集要項や申請書を入手してください <a href="https://komiya-zaidan.org/#/scholarship_page">https://komiya-zaidan.org/#/scholarship_page</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】以下の①～⑤すべてに該当すること</li> <li>① 日本国籍を有すること</li> <li>② 国内大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること</li> <li>③ 応募締切日時時点で年齢25歳以下であること</li> <li>④ 経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>⑤ 就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ul> <p>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【応募の目安】</li> <li>学業成績: GPAが3.0以上であること</li> <li>家計状況: 収入・所得が、募集要項に記載の金額以下であること</li> </ul>	可
2025/4/15	公益財団法人谷育英財団 谷育英奨学金	給付	年額48万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人が直接申請してください。</li> <li>【給付期間】 2年間(学部3年次・4年次)</li> <li>【募集期間】 2025年4月1日～5月31日</li> <li>【申請方法】 財団ホームページより、募集要項や申請書を入手してください <a href="https://tani-edu-foundation.org/scholarship/">https://tani-edu-foundation.org/scholarship/</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【応募資格】以下の①～⑤すべてに該当すること</li> <li>① 日本国籍を有すること</li> <li>② 国内大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること</li> <li>③ 応募締切日時時点で年齢25歳以下であること</li> <li>④ 経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>⑤ 就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ul> <p>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【応募の目安】</li> <li>学業成績: GPAが3.0以上であること</li> <li>家計状況: 収入・所得が、募集要項に記載の金額以下であること</li> </ul>	可

2025/4/15	公益財団法人 交通遺児育英会奨学金 【学部生向け】	貸与 (一部給付)	月額4万円・5万円 ・6万円から選択 (うち2万円は給付)	・本人が直接申請してください 【申請期限】 令和7年10月31日  【申請方法】 財団ホームページを確認してください。 <a href="https://www.kotsuji.com/">https://www.kotsuji.com/</a>	【応募資格】 現在大学・短大に在籍している学生で、下記の要件を満たすこと  保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含まれます(申込時25才までの人)	可
2025/4/15	公益財団法人 交通遺児育英会奨学金 【大学院生向け】	貸与 (一部給付)	月額5万円・8万円 ・10万円から選択 (うち2万円は給付)	・本人が直接申請してください。 【申請期限】 令和7年10月31日  【申請方法】 財団ホームページを確認してください <a href="https://www.kotsuji.com/">https://www.kotsuji.com/</a>	【応募資格】 現在大学院に在籍している学生で、下記の要件を満たすこと  保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含まれます(申込時25才までの人)	可
2025/4/15	★熊本県育英資金	貸与 (無利子)	月額2万5千円	大学(学生支援課)を通しての申請が必要です。  【申請期限】 2025年6月6日(金) 17時まで  【申請方法】 募集要項や申請様式は、各自で下記のページより入手してください。必要書類をそろえ、上記期限までに学生支援課へ提出してください <a href="https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/89895.html">https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/89895.html</a>	【応募資格】次の各号すべてに該当する者 ①申請者と生計を共にしている家族で、その生計を主に維持している者が熊本県内に居住していること ②学校教育法による大学に在籍する学生であって、育英資金の貸与が必要であると認められること ③各世帯の家計状況が次のアからウのいずれかに該当すること ア申請者の属する世帯が生活保護法に基づく保護を受けている場合 イ申請者の属する世帯で、収入のある者全員が、地方税法の規定により市町村民税が非課税又は減免になっている場合 ウ申請者の属する世帯の所得合計が、生活保護法における基準額の2倍以下の場合 ④地方公共団体、公益法人、学校法人等から現に学資の貸与を受けていないこと ⑤貸与した育英資金の返還が確実と認められること	
2025/5/7	★公益財団法人 宮崎県奨学会奨学金 (返還免除型)	貸与 (無利子)	月額 2万5千円	大学を通しての申請が必要です。  【申請期限】※学内の期限です 2025年6月16日(月)17時まで  【貸与期間】 令和7年4月より在学する学校の修学期間の範囲内  【申請方法】 募集要項や申請様式は、学生支援課にて配布します。必要書類をそろえて、期日内に学生支援課へ提出してください。	【返還免除の要件】 宮崎県内の公立又は私立の小・中・高及び特別支援学校等の常勤の教員等(講師含む)として勤務している期間の返還が免除されます。(大学新卒の場合、12年6か月連続雇用されていれば全額免除となります)  ※常勤の教員等として勤務していない期間は、年額10万円の返還が必要となります  【応募資格】 【応募資格】次のいずれの条件も満たす者 ①宮崎県に本籍を有する者、又は、本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ②令和7年4月に大学に入学した者 ③宮崎県の教員を志望する者	可
2025/5/7	★公益財団法人 宮崎県奨学会奨学金	貸与 (無利子)	月額 2万5千円	大学を通しての申請が必要です。  【申請期限】※学内の期限です 2025年7月16日(水)17時まで  【貸与期間】 令和7年4月より在学する学校の修学期間の範囲内  【申請方法】 募集要項や申請様式は、学生支援課にて配布します。必要書類をそろえて、期日内に学生支援課へ提出してください。	【応募資格】次のいずれの条件も満たす者 ①宮崎県に本籍を有する者、又は、本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ②令和7年4月に大学に入学した者 ③宮崎県の教員を志望する者  ※ただし、免除型奨学金以外の貸与については、在学生(2年生以上)の応募も受け付ける。2年生以上で希望する場合は、公益財団法人宮崎県奨学会まで問い合わせること。	可
2025/5/7	★公益財団法人 清川秋夫育英奨学財団 奨学金	給付	15万円(年額)	・大学を通じでの申請が必要です 【申請期限】 学内提出期限:2025年6月13日(金)17時まで  【給付期間】 2025年4月1日から2026年3月31日までの1年間  【申請方法】 下記財団ホームページより、募集要項や大学生向けの様式をダウンロードし、内容を確認してください。 必要書類をそろえ、上記期日内に学生支援課まで提出してください。 <a href="https://kiyokawaakiozaidan.jp/scholarship">https://kiyokawaakiozaidan.jp/scholarship</a>	【応募資格】 ◆大学生の場合 ①鹿児島県の高等学校を卒業し、県外の大学に在学する者のうち、第一次産業に貢献する志を持つ学生 ②鹿児島県内の短期大学及び大学に在学する者のうち、第一次産業に貢献する志をもつ学生  【奨学金の併願について】 他の奨学金との併給は可能だが、当財団から給付実績のある方からの応募は不可	可 ※一部 条件有
2025/5/7	公益財団法人 伏見記念財団奨学金	給付	博士前期課程 →月額3万円  博士後期課程 →月額5万円	・本人が直接申請してください 【申請期間】 2025年6月2日(月)～2025年7月31日(木)まで  【給付期間】 奨学生として採用されたその年度の始期から、各課程の正規の最短修業年限の終期まで  【申請方法】 下記財団ホームページより、募集要項や様式をダウンロードしてください <a href="https://fushimi.tokyo/scholarship.html">https://fushimi.tokyo/scholarship.html</a>	【受給資格】 令和7年4月に日本国内の大学院に在籍し、日本の歴史又は文化に関する研究を行う、日本国籍を有する者。博士前期課程は30歳未満、博士後期課程は35歳未満の者(令和7年4月1日時点)	
2025/5/7	公益財団法人 重田教育財団 2025年度海外留学奨 学金	給付	月額20万円	・本人が直接申請してください 【申請期間】 2025年5月1日～2025年6月30日必着  【給付期間】 2年間  【申請方法】 下記財団ホームページより、募集要項や申請様式等を確認してください  <a href="https://s-ef.or.jp/scholarship/">https://s-ef.or.jp/scholarship/</a>	【応募資格】下記①～⑤のすべてに該当する者 ①日本国籍を有する者 ②海外の大学又は大学院への入学が確定している者 ③経済的な理由により留学費用の支弁が困難であること ④学業優秀且つ品行方正であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること  ※ただし、学位取得を目的とする2学年以上の正規留学を対象とし、語学留学・短期留学等は対象外とします	可